

五家荘上福根山 (かみふくねやま) 1645m
 ルート図 (コヨーテの山日記より)



梅檀とどろの滝(KY)



山女魚荘



夕食懇親会



H25.10.12-13 10名参加 (天草山岳会)

1号車-SM、KM、SA、IS、NM

2号車-KY、KH、SH、KM、YH

■10/12(土)快晴 8:00 天草市役所出発,10:51 大通峠,11:41 五木村道の駅久領庵(昼食),13:20 久連子登山口下見,14:20 梅檀とどろの滝,17:35 山女魚(やまめ) 荘泊

10/13(日)快晴 5:30 起床,6:15 朝食,7:00 出発,7:50 久連子登山口,8:05 出発,10:17 鍾乳洞上ピーク,10:59 岩宇土山,11:24 オコバ谷分岐,12:03 林道,13:10 上福根山(弁当),13:55 下山開始,15:10 オコバ谷分岐右折,16:46 川原を右岸へ,17:23 砂防ダム下道路,18:00 車着,18:57 五木温泉,21:47 岩谷入船チャンポン,23:30 本渡解散,参加費 350km 8500 円(資料代,保険代,宿泊代 7350 円,写真代,距離割引,車代還元 3000 円)

■本渡から 10 名が車 2 台で出発する。大矢野ヒライに寄り、宮原から東陽町を通り大通峠でトイレ休憩。道路を下り五木村に入る。完成したばかりの頭地(とうち)大橋を渡り、道の駅久領庵で定食ソバを食べる。

国道 445 号を川辺川沿いに上り八代市泉町へ入る。右折して川を渡り狭い道路を上って久連子古代の里を通り、岩宇土山登山口に着いた。過疎化のため廃屋が目立つ。「久連子」は「仁田尾、樅木、椎原、葉木、久連子」と呼ばれる五家の一つで、平家伝説が残る。

国道へ戻り、上流へ上ると道路が広がった。次の目的地梅檀とどろの滝へ向かう。駐車場に車を置き遊歩道を下ると落差 70m の滝を正面に見る。「とどろ」とは「轟く」の意。

菅原道真ゆかりの左座(ぞうざ)屋敷を見学した後山女魚荘に向かうが道路工事で通行止めの為時間待ちをして夕刻山女魚荘に到着。

ヤマメ養殖場を見学して五右衛門風呂にはいる。夕食はヤマメの塩焼き、刺身、イクラ、イワタケ、タラノメ、鹿肉の煮物で大変おいしい。食べきれないほどの量でおなかいっぱいになる。

トリカブトの花



岩宇土山 1347m



上福根山(中央)



上福根山頂上 1645m(KY)



早朝に起床し、むかご御飯とヤマメの朝食を食べ、弁当を受取り久連子へ向かう。

岩宇土山登山口に車を置き、急な斜面を登り始める。尾根の上に出て暑くなり一枚脱ぐ。快晴の空のもと涼しい風が吹きわたっている。快適な尾根をしないで高度を上げながら歩き「山の神」と呼ばれる石像を通過する。

尾根の南側の山腹を通り、急な斜面を直登する。「久連子鍾乳洞」と呼ばれる洞窟を過ぎて尾根のピークへ出て一休み。トリカブトの花が青紫色に怪しく咲いていた。

急なガレ場を登り、熊笹と鹿ネットの間を通り岩宇土山山頂に到着。少し下ってオコバ谷分岐を通過、再び尾根の登りになりキヤノキ谷分岐を通過して林道に出て鹿三頭に出会う。この林道は荒れて廃道同然になっていた。

ブナやカヤ、ツガの大木が目立ち、登山者が少ないせいか熊笹が生い茂る登山道を登る。シャクナゲ群落を過ぎてついに上福根山山頂に到着した。山頂は岩が露出し樹林におおわれて眺望は少ない。だいぶ昼を回っているので先に着いた者から弁当を食べ、記念写真を撮る。

下山を開始し、オコバ谷分岐を右折してオコバ谷へ下る。杉林の急な斜面が続き小屋跡地を通り川原に出る。川原を横断し右岸に付けられた迂回路を下る。オコバ谷ルートは相当に長い。足がガクガクになる頃やっとコンクリート舗装道路に下山した。平成15年にオコバ谷を下山した時の記憶と違い砂防ダム工事の為に登山ルートが随分変わった。

車に着いた頃には薄暗くなり、次の目的五木温泉に入る。往路を引き返し大通峠、宮原を通り岩谷でチャンポンを食べる。深夜に無事本渡へ帰着し解散した。牛深の五人はお疲れ様。

[参考文献]

- ① 九州の山 (山と溪谷社)
- ② 熊本百名山 (熊本日日新聞社)
- ③ 山女魚 (やまめ) 荘 0965-67-5201 (N)